

記入例②

・今年度初めて申告される方は、令和7年1月1日現在の全資産を、この様式に記入してください。
 ・昨年度も申告された方で、令和6年1月2日から令和7年1月1日までに取得した資産がある場合は、この様式に記入してください。

あらかじめ打ち出していますが、打ち出されていない用紙の場合は、手書きで記入してください。

増加事由は、1新品、2中古、3移動、4その他のいずれかを○で囲んでください。

- 1 構築物
- 2 機械及び装置
- 3 船舶
- 4 航空機
- 5 車両及び運搬具
- 6 工具器具、備品

令和7年度										種類別明細書(増加資産・全資産用)										基山町		
※ 所有者コード																				所有者名		枚のうち
																				〇〇工業株式会社		枚目
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額			耐用年数	減価残存率	価額			※課税標準の特例			増加事由	摘要		
					年号	年	月	十億	百万	千円			円	十億	百万	千円	円	率			コード	十億
01	1	[記入不要]	チュウシャシヨウホソウ	1	4	2	7	2	500	000	10	10	[記入不要]	[記入不要]	[記入不要]	[記入不要]	[記入不要]	[記入不要]	○・2 3・4			
02	2		ハイスイショリシセツ	1	5	0	1	11	2	000	000	10							○・2 3・4	特例15-5-2		
03	2		チュウボウセツビ	1	4	2	5	6	1	500	000	8							○・2 3・4	省令改正による変更		

償却資産の名称をカタカナ、アルファベット、数字を用いて記入してください。

年号は「3」は昭和、「4」は平成、「5」は令和を表します。

耐用年数の変更については、変更理由が分かるように記入してください。
 (例) 省令改正による変更
 (例) 申告誤りによる変更など

課税標準の特例に該当する資産がある場合は、摘要欄に次のように記入してください。
 (例) 特例、附則第15条第5項第2号

記入例③

昨年申告された方で、令和6年1月2日から令和7年1月1日までに減少(滅失、売却等)した資産がある場合は、別添の「令和6年度 種類別明細書」を参照して、この様式に記入してください。

別紙「令和6年度 種類別明細書」に打ち出されている資産コードを間違いないように記入してください。

令和7年度										種類別明細書(減少資産用)										基山町		
※ 所有者コード																				所有者名		枚のうち
																				〇〇工業株式会社		枚目
行番号	資産の種類	抹消コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額			耐用年数	申告年度	減少の事由及び区分				摘要					
					年号	年	月	十億	百万	千円			円	1 売却	2 滅失	3 異動		4 その他	1 全部	2 一部		
01	6	00016	クレーン	1	3	5	3	7	200	000	6	令和6年度	Q・2・3・4	Q・2								
02													1・2・3・4	1・2								

減少資産を申告される場合、資産(抹消)コードと取得年月、耐用年数、取得価格が別添「令和6年度 種類別明細書」と一致しないと減少とはなりませんのでご注意ください。

記入例④

昨年申告された方で、令和6年1月2日から令和7年1月1日までに償却資産の取得も除却もない場合は、この様式に「増減なし」と記入してください。

あらかじめ打ち出していますが、打ち出されていない用紙の場合は手書きで記入してください。

令和7年度																			
※ 所有者コード											基山町								
2 [記入不要]											所有者名		枚のうち						
											〇〇工業株式会社		枚目						
行番号	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額			(イ) 耐用年数	(ロ) 減価残存率	価額			(ハ) ※ 課税標準の特例率	※ 課税標準額	増加事由	摘要
					年号	年	月	十億	百万	千円			十億	百万	千円				
01		[記入不要]																1・2 3・4	
02			増減なし															1・2 3・4	
03																		1・2 3・4	

「増減なし」と記入してください。